

鹿児島県 南さつま市

鹿児島本土の最西南端
白砂青松の吹上浜と
変化に富んだ美しい
リアス海岸を有する、
豊かな自然に育まれた
歴史と景観の街

面積 283.59㎢　**世帯** 16,424世帯　**人口** 30,351人



南さつま市の沿革

2005(平成17)年11月7日に加世田市、笠沙町、大浦町、坊津町
および金峰町の１市４町が合併し、南さつま市として市制を施行

包括連携協定

2012年6月1日締結

市内の教育機関

小学校：7校 (1,134名)　中学校：3校 (567名)
義務教育学校：2校 (476名)
高等学校：公立2校・私立1校
※ 括弧内は児童生徒数

2026年4月末時点

見どころ

南さつま市は、鹿児島県薩摩半島の西南端に位置し、日本三大砂丘「吹上浜」や九州百名山にも選ばれている「金峰山」など、雄大な自然に囲まれた街です。国道226号線沿いの「南さつま海道」から望む東シナ海に沈む夕日や、国指定名勝「坊津」など、日本の原風景とも呼べる美しい景観を楽しむことができます。
市の中心部にある竹田神社には、戦国時代に活躍した薩摩島津家中興の祖として知られる島津忠良（日新公）がまつられ、周辺には武家屋敷も残されています。
また、日本律宗の開祖・鑑真大和上の上陸地や、対外貿易の要港として栄えた坊津の石畳などの特徴的な街並みも魅力のひとつです。

観光スポット
- 武家屋敷群・竹田神社
- 万世特攻平和祈念館
- くじらの眠る丘
- 萬世酒造
- マルス津貫蒸溜所
- 笠沙美術館
- 映画「007」撮影記念碑
- 亀ヶ丘展望所

海浜公園
サンセットブリッジ
なども必見！

イベント・レジャー





毎年5月ゴールデンウィークを中心に開催される「吹上浜砂の祭典」は、吹上浜の砂を利用し最大6m級の砂像がまちなかに並び、県内外から6万人前後の来場者が訪れます。南さつま海道沿いの海は、釣りやダイビングなどマリンレジャーのメッカとなっています。
1995(平成7)年11月11日にサイクルシティ誓言を行い、自転車を活用したまちづくりに取り組んでおり、市内で毎年開催される、ツール・ド・南さつま「海道八景めぐり」には、国内外から多くのサイクリストがイベント参加のためにこの地を訪れます。

人気のアクテビティ：サイクリング、川遊び・釣り、カヌー、SUP、カイトボード、ボルダリング、星の観察

特産品



鹿児島県南部にあるという温暖な気候を活かした農産物の生産が盛んです。
加世田のかぼちゃ、砂丘らっきょう、きんかん春姫、金峰コシヒカリ、たかえび、黒豚、黒毛和牛、焼酎、ウイスキー

交通アクセス

鹿児島空港～南さつま市中心部まで車で約1時間20分
鹿児島中央駅～南さつま市中心部まで車で約50分

宿泊

かせだ交流センターさんぱる
温泉交流の郷 南さつま・いなほ館
南さつまキャンパス久志晴耕塾



さんぱるHP⇒



南さつま・いなほ館HP⇒

玉川学園ゆかりの街

鹿児島県 南さつま市 MINAMISATSUMA CITY

小原國芳生誕地公園と玉川学園通り





創立者小原國芳の生まれ故郷である鹿児島県南さつま市坊津町久志に、小原國芳生誕地公園があります。この場所は小原の生家跡地で、1967(昭和42)年に「小原國芳生誕の記念碑」が建立され、1976(昭和51)年には「子供たちが小原を囲む群像」が設置されました。それから34年後の2010(平成22)年、玉川学園創立80周年記念事業の一環として、公園と群像の整備改修が行われました。2023(令和5)年8月19日には、南さつま市いにしへホールにおいて、包括連携協定締結10周年を記念したセレモニーが開催され、翌日の20日には久志において「玉川学園通り」の除幕式が行われました。久志高等学校(1948年開校/1980年廃校)の生徒たちの通学路であった小原國芳生誕地公園前の約320メートルの市道が、包括連携協定締結10周年を記念して「玉川学園通り」と名付けられました。





勉学の道





小原國芳は久志尋常小学校特置高等科に通っていました。しかし、その学校は基準とされる設備が整備されておらず、卒業しても正式な高等小学校卒業の資格が認められませんでした。國芳を可愛がっていた久志尋常小学校の源之先生（本名は田実源之助）は、勉強熱心だった國芳に何とか高等小学校卒業の資格を取らせたいと考え、転校を勧めました。あと数カ月で卒業でしたが、國芳と友達の二人は枕崎市内にある桜山尋常高等小学校に通うことを決心しました。片道3里、往復6里(約24キロ)の道のりを毎日歩いて通うことになります。そして、1900(明治33)年1月に桜山尋常高等小学校に入学、同年3月21日に卒業しました。現在、この道は「勉学の道」と名付けられ、久志地区の方々が整備してくださっています。

玉川学園・玉川大学 南さつまキャンパス



南さつま市坊津町久志にあり、総面積は約10万平方メートル。ポンカンを中心とする柑橘類の栽培に加え、冬季温暖な気候を利用したマンゴーやパッションフルーツなどの熱帯果樹などの栽培にも力を入れており、主に農学部の実習の場として活用されています。
創立90周年事業の一環として「久志晴耕塾」が建設されました。1階にはCommunity Space Lounge(ラウンジ)、Learning Space1(自習室)、オープン形式のキッチンやダイニングなどを完備しています。また廊下の水槽では久志の海の生物を観察することが可能です。宿泊設備は2階に配置されており約50名が宿泊可能です。

コスモス祭 販売品 (2025年実績)



焼き芋、さつま芋詰め放題、坊津の華(天然塩)、坊津の華(ごま塩・胡椒)、丁子屋濃口醤油、丁子屋なごみ酢、豚みそ、南さつま長命草ジェノバソース、ゆら早生みかん、4種の豆団子、坊津旅情(よもぎ・小豆)、ふくれ菓子、坊津ぽんかん最中、久志オリジナルキャップ、ステッカー

2025(令和7)年度 主な交流活動





2025年度(4回)	坊津学園6年生が南さつまキャンパスを訪問し、農場・施設見学、パッションフルーツの受粉・観察・加工体験、柑橘類の品質調査、畑の木々の伐採などを体験
2025年度(3回)	農学部の学生が選択科目「フィールド実習」に参加し、滞在中に「南さつま市の農業・産業」 を視察
2025年7月28日～31日	K-12 Secondary Division 9～11年生23名が久志研修に参加
2025年10月25日～28日	K-12 Primary Division 5年生16名がESオータムキャンプin 久志に参加
2025年9月3日	教育学部杉山ゼミ：学生7名が南さつま市役所を訪問
2026年3月2日～3月12日	硬式野球部の学生90名が南さつま市内での合宿に参加

南さつま市役所ホームページ

南さつま市観光協会ホームページ

2026年10月1日